



たいよう



葵が丘小学校 ことばの教室便り

平成29年6月30日号

くもりの日や雨の日が多く、太陽のまぶしさが待ち遠しい頃です。夏休みが近づき、今年の夏休みはどのように過ごそうかとわくわくしている子供たちが多いのではないのでしょうか。夏休みは、普段できないことにチャレンジしたり、好きなことに時間をかけて取り組んだりすることができる時です。お子さんと一緒に楽しい時間を過ごしましょう。

7月の予定



- 7月7日（金） 校内入退級審査会
- 12日（水） 市入退級審査会のため、全教室午前中指導はありません。
- 17日（月） 祝・海の日
- 21日（金） ことばの指導最終日
- 24日（月） 教育相談日
- 25日（火） 葵が丘小1学期終業式

- ☆8月29日（火） 葵が丘小2学期始業式
- ☆8月30日（水） ことばの教室指導開始



夏休みに心がけたいこと

夏休みは、子供と一緒にいる時間が増えるため、つつい子供に注意することが増えますね。

否定ではなく、肯定で伝えましょう。

「〇〇はダメです」「〇〇はやめなさい」では子供はどうしたらいいか分かりません。否定ではなく、「〇〇しましょう。」といった肯定で伝えることが大切です。

- 例「手で食べてはいけません。」→「おはしを使って食べようね。」
- 「いつまで起きてるの！」→「もう寝ましょう。」

具体的な時間や回数を伝える方が理解しやすくなります。

- 例「あとでね。」→「8時になったら絵本を読みます。」
- 「もうちょっとがんばろう。」→「この漢字をあと5回書こうね。」



身体と心の成長が言葉の土台になります。

子供が話せるようになるためには、言葉を発するためのいろいろな力が備わっている必要があります。言語聴覚士の中川信子さんの説明を紹介します。

脳は積み上げ構造になっています。脳の構造を鏡餅に例えると、一番下のおもちが「身体を司る脳」、二段目のお餅が「心を司る脳」、そして一番上に乗る橙が「知力や言葉を司る脳」です。一段目のおもちがないと二段目のお餅は乗せられません。二段目のお餅がないと橙は乗せられません。



つまり、生まれたばかりの赤ちゃんは、食べて、遊んで、眠るということを繰り返しながら「身体」を育てていきます。そして、遊んで楽しかった、おやつを食べておいしかった、おかあさんがそばにいてくれてうれしい、自分の気持ちが分かってもらえてほっとしたといった「心」が育っていきます。そうして、言葉を発する素地が育まれてはじめて、「知る」「覚える」「分かる」「まねる」「話す」といった「知力」や「ことば」の働きが機能するようになるというわけです。

夏休みこそ、「ことば」の土台となる「食べる」「遊ぶ」「眠る」をしっかり育みましょう。